

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

あり

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっぽんしゃだんほうじんにほんてれまんきょうかい		
	制作団体名	一般社団法人日本テレマン協会		
	代表者職・氏名	代表理事 延原武春		団体ウェブサイトURL
				<a href="http://www.cafe-telemann.com/">http://www.cafe-telemann.com/</a>
	制作団体所在地	〒 530-0002	最寄駅(バス停)	JR北新地駅・大阪メトロ西梅田駅
		大阪府大阪市北区曽根崎新地2丁目1番17号		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	てれまんしつないおーけすとら		
	公演団体名	テレマン室内オーケストラ		
	代表者職・氏名	音楽監督 延原武春		団体ウェブサイトURL
				<a href="http://www.cafe-telemann.com/">http://www.cafe-telemann.com/</a>
	公演団体所在地	〒 530-0002	最寄駅(バス停)	JR北新地駅・大阪メトロ西梅田駅
		大阪府大阪市北区曽根崎新地2丁目1番17号		
	制作団体 設立年月	1963年4月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表理事:延原武春/理事:奥田博子・永海孝・中嶋丈三/監事:高山豪史/事務局長:今井良/事務職員4名/アドバイザー4名	団体構成員/テレマン室内オーケストラ 25名 加入条件/適宜行われるオーディションによる	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	今井 良
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	奥田博子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:imai@cafe-telemann.com">imai@cafe-telemann.com</a>		0663451046

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>関西を中心に活動する18世紀音楽の専門団体。バロックからベートーヴェンまでを専門とし、ピリオド楽器（バロック楽器及びクラシカル楽器）とモダン楽器を使い分けることが出来る室内楽団です。1963年、作曲家テレマンの「音楽は楽しくあるべき」というモットーに感銘を受けた現音楽監督の延原武春が創設しました。</p> <p>主催公演としては大阪市中央公会堂と東京文化会館での定期演奏会（年間10公演程度/通算300回以上）、大阪倶楽部でのマンズリーコンサート（年間8公演程度/通算500回以上）、カトリック夙川教会での教会音楽シリーズ（年間3公演程度）などがあり、依頼公演も含めると様々な地域で年間100回以上の公演を実施しています。</p> <p>これまでに十数回の海外公演や多数のCDのリリース等、多方面にわたり精力的に活動を続けており、文化庁芸術祭優秀賞や第17回サントリー音楽賞、その他多くの賞を受賞しています。2019年には創設当時の演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。2023年には協会創立60周年事業第300回定期演奏会で1829年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現。その功績が認められ、令和5年度大阪文化祭賞を受賞しました。</p>	
	学校等における公演実績	<p>2017年 神戸市立六甲小学校</p> <p>2018年 道明寺南小学校・グレース幼稚園・神戸市立美野丘小学校・丹波市立大路小学校 大谷学園・奈良学園登美ヶ丘中学校</p> <p>2019年 グレース幼稚園・姫路市立の形小学校</p> <p>2020年 神戸市立湊小学校</p> <p>2021年 グレース幼稚園・三木市立広野小学校</p> <p>2022年 グレース幼稚園・猪名川町立猪名川小学校・大谷学園</p> <p>2023年 グレース幼稚園</p> <p>2024年 グレース幼稚園・三木市立口吉川小学校・川西市立けやき坂小学校・神戸市立泉台小学校</p> <p>2025年 グレース幼稚園・姫路市立大津茂小学校・小野市立小野東小学校・大谷高校</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>令和6年度 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演） 2025年11月27日 紋別養護学校ひまわり学園分校</p> <p>令和5年度 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演） 2023年10月30日 沖縄県立西崎特別支援学校</p> <p>平成30年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業— 2018年10月1日 札幌市立北翔養護学校 2018年6月12日 青森県立浪岡養護学校</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/vHxVx3J4CK4">https://youtu.be/vHxVx3J4CK4</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	なし
----	----

【公演団体名      テレマン室内オーケストラ      】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	バロック音楽の贈りもの～知って、聴いて、踊る、音楽の旅～			
企画のねらい	<p>本企画の最大のねらいは、本格的なバロック音楽の実演を鑑賞して頂くことで、その良さをお伝えし、児童・生徒の皆様の豊かな情操と音楽への関心を育むことです。</p> <p>バロック音楽は、メロディーを和音が支えるという今日の音楽の基礎が確立された時代のものであり、そのシンプルな構造は、拍やフレーズ、反復といった楽曲の仕組みを理解するのに適しています。公演時には司会者による解説でそれらをお伝えし、児童・生徒の皆様に「わかる!」と実感して頂けるような鑑賞体験を提供します。</p> <p>また、一方的な鑑賞とならないよう、公演内に「体験コーナー」と「インタビュー・コーナー」を設けます。特にバロックダンスの体験では実際に体を動かして音楽と一体となり、音楽を体感して頂きます。さらに、インタビュー・コーナーでは演奏家が今の職業を目指したきっかけなど、人間的なストーリーに触れることで、自己とは異なる他者への理解が深まります。</p> <p>これらを短い時間で総合的に体験して頂くことで前述の「ねらい」を実現します。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>下記の5つの教育効果を期待し、選曲致しました。</p> <p><b>①バロック音楽を通じて音楽を形づくる要素や概念への理解を促進すること</b> バロック音楽の「入口」としてバッハ、ヘンデル、ヴィヴァルディといった、後期バロックの極めて重要な作曲家の名曲をご鑑賞頂きます。バロック時代の名曲の実演を通して、この時代の音楽様式の特徴(通奏低音、対位法的な響きなど)に触れ、拍子、旋律、和声といった音楽を構成する要素を自然に感じ取り、音楽を形作る要素や概念などについての理解を深めます。</p> <p><b>②未知の名曲を発見することによる美的判断力の育成</b> 本企画ではヴィヴァルディ「春」やバッハ「カノン」といったいわゆる「王道」の作品に加えて、テレマンやデュパールといった、一般的にはあまりなじみのない作曲家の作品も取り上げます。既知の楽曲の良さを確認することも大事ですが、未知の楽曲の素晴らしさを発見することで児童・生徒の皆様にとっては自らの感性で物ごとの価値を判断する機会となります。</p> <p><b>③リコーダーの芸術性の発見</b> 身近な楽器であるリコーダーが、技巧的な独奏楽器としても高い芸術性を有することをプロの演奏で示します。これにより、児童・生徒の皆様が身近な楽器の新たな可能性を発見し、器楽学習への関心と意欲を高めることにつなげます。</p> <p><b>④音楽と情景の結びつきの理解を通して感性を育むこと</b> ヴィヴァルディの「四季」では、楽譜に書かれたソネットとリンクして「春の情景」や「小鳥」、「小川」などが描かれており、それらを実演を交えた解説付きで演奏することで、児童・生徒の皆様とイメージを共有し、豊かな心や感性をはぐむことにつなげます。</p> <p><b>⑤教科横断的な探究学習への展開と記号接地</b> バッハの作品であれば作曲当時はライブツィンクの教会で、ヘンデルの作品であればロンドンの宮廷で、ヴィヴァルディの作品であればヴェネツィアの修道院で演奏されていました。これらの作品の歴史的な背景の解説を交えつつ演奏をご鑑賞頂くことで「当時の人々はどのような生活をし、音楽を楽しんでいたのか」ということ実感を持って理解して頂き、社会科の興味関心を高めます。</p> <p>また、ヴィヴァルディ「四季」の四季折々の情景描写はヨーロッパの典型的な詩の形式です。詩の内容が音によって具現化されることで、言葉が持つ魅力を実感して頂き、国語科の興味関心を高めます。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>下記の3つを予定しています。</p> <p><b>①体験コーナー バロック・ダンス(G.F.ヘンデル:「水上の音楽」よりメヌエット)</b> 18世紀の宮廷舞踊の花形であるメヌエットを、楽団の演奏に合わせて踊って頂きます。基本的には円になって踊って頂きますが、体験人数が多い場合はご鑑賞位置で整列した状態で踊って頂く場合もございます。メヌエット・ステップについてはワークショップで体験的に学習して頂きます。</p> <p><b>②共演コーナー A.合唱共演(開催校様のご希望の演目)またはB.リコーダー共演(作者不詳:グリーン・スリープス)</b> 合唱共演の場合は普段ピアノ伴奏等でお歌いになられている楽曲を弦楽オーケストラの伴奏で歌って頂きます。 リコーダー共演の場合はバロック時代の名曲「グリーン・スリープス」でオーケストラと共演して頂きます。 小学校ではソプラノリコーダーで、下記の通り習熟度別に楽譜をご用意しています。 ・小学3年生向け:使用音ソ・ラ・シ ・小学4年生向け:使用音ミ・ソ・ラ・シ・ド・レ ・小学5年生以上向け:使用音ミ～高いソ(#ファ、#ソ含む) 中学校ではアルトリコーダー用の楽譜をご用意致します。</p> <p><b>③弦楽オーケストラのための編曲による開催校様校歌(合唱共演)</b> 普段ピアノ伴奏等でお歌いになられている校歌を弦楽オーケストラのための特別編曲版で演奏し、一緒にお歌い頂きます。児童・生徒(または先生)のどなたかに指揮をして頂くことも可能です。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	1～500名程度	
		鑑賞人数目安	1～500名程度	

本公演演目  
原作/作曲  
脚本  
演出/振付

①音楽の父バッハによる名曲  
♪J.S.バッハ:管弦楽組曲 第3番より

②弦楽合奏の魅力  
♪J.パッヘルベル:カノン

③オーケストラの楽器を知ろう！  
楽器紹介～弦楽器、チェンバロ～

④【インタビュー・コーナー】  
演奏家のストーリーに触れよう！

⑤実演を交えた解説付き！音による情景描写  
♪A.ヴィヴァルディ:「四季」より「春」

⑥【体験コーナー】宮廷舞踊の花形であるメヌエットを踊ろう！  
バロック・ダンス(G.F.ヘンデル:水上の音楽 第2組曲より「メヌエット」)

～休憩(10分)～

⑦【共演コーナー①】※AまたはBの選択制  
A.合唱共演(開催校様のご希望の演目)  
B.リコーダー共演(作者不詳:グリーン・スリーヴス)

⑧鳥に鳴き方を教える楽器リコーダー  
♪作者不詳:「小鳥愛好家の楽しみ」より

⑨室内楽のリコーダー  
♪デュパール:リコーダーと通奏低音のための組曲 より

⑩リコーダーのための協奏曲！超絶技巧を聴いてみよう！  
♪G.Ph.テレマン:リコーダー協奏曲

⑪歌声の魅力  
♪G.F.ヘンデル:歌劇「リナルド」より「私を泣かせてください」

⑫【共演コーナー②】  
弦楽オーケストラのための編曲による  
♪開催校様校歌

アンコール  
⑬18世紀に最も人気のあった作曲家テレマン  
♪G.Ph.テレマン:管弦楽組曲「ハンプルクの潮の満干」より



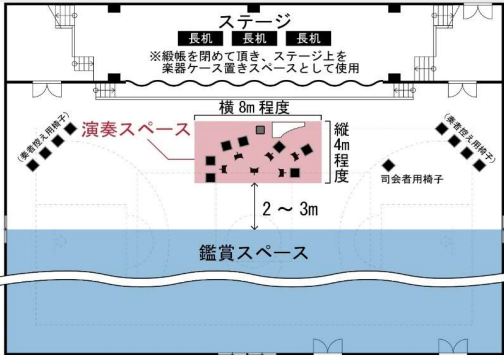

公演時間	90	分
------	----	---

出演者

指揮: 姜 隆光  
リコーダー独奏: 村田佳生  
司会: 伊豆田佑香  
歌: 中村朋子 または 渡辺有香  
コンサートマスター: 浅井咲乃

テレマン室内オーケストラ  
編成 1stヴァイオリン2名/2ndヴァイオリン2名/ヴィオラ1名/チェロ1名/コントラバス1名/チェンバロ1名  
※離島用の小型チェンバロあり。ただし航空機で運搬出来ない場合はチェンバロの代わりにリュートを使用

●上記以外の出演予定メンバー(下記のメンバーでローテーション)  
ヴァイオリン: 三谷彩佳・田畑佳子・岩上杏子・小川菜奈・上田晶子・河村真央・松本紗希・黒江郁子・串田えがく  
ヴィオラ: 坪ノ内裕太・若松芳・上川忠明・松井紀子 / チェロ: 鷺見敏・谷口晃基 / コントラバス: 橋本将紀  
チェンバロ: 小鍛冶優子・高田泰治 / リュート: 高本一郎※チェンバロが運搬不可能な場合のみ

本公演・ワークショップの内容	演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<div><p><b>指揮者 姜 隆光</b> テレマン室内オーケストラの首席ヴィオラ奏者を務める傍ら、同楽団指揮者・音楽監督延原武春のアシスタント・コンダクターを務める。世界的なバロック・ヴァイオリン奏者であるサイモン・スタンデイジやウッラ・ブンディースらと共演してきたことで、18世紀当時の演奏習慣や奏法、解釈について深い見識を有している。</p></div> <div><p><b>リコーダー独奏 村田佳生</b> 大阪音楽大学楽理専攻卒業。桐朋学園大学カレッジ・ディプロマコース古楽器専攻に2年間在籍。アムステルダム音楽院リコーダー科をディプロマを得て卒業。現在は関西を拠点に、自身のリサイタル・シリーズの他に室内楽やリコーダー協奏曲のソリストとして活躍。大阪音楽大学非常勤講師。また一方、各地でリコーダーの指導にも携わっている。</p></div> <div><p><b>ヴァイオリン独奏・コンサートマスター 浅井咲乃</b> テレマン室内オーケストラのソロ・コンサートマスター。ヴィヴァルディ「四季」を得意とし、音楽誌などで「いま、もっとも聞きたい『四季』」という高い評価を得る。日本テレマン協会定期演奏会東京公演では共同通信で「浅井咲乃は熱意にあふれた弓さばきで華々しいソロを弾きこなす」と報道される。2012年にはCDデビュー。大阪市浪速区の文化親善大使も務める。</p></div>					
	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 12 名 スタッフ: 2 名 合 計: 14 名		運搬		積載量: 1 t 車 長: 4.7 m 台 数: 1 台	
	本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間	時間程度
		到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出
		9:00	10:00～12:00	13:00～14:30	10分	14:30～15:00	15時30分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安  ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月	7月	8月	9月			
	15日	15日	15日	15日			
	10月	11月	12月	1月			
	10日	10日	10日	15日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	105日			
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)	<div><p>ステージ ※観客を閉めて頂き、ステージ上を楽器ケース置きスペースとして使用 演奏スペース 横 8m 程度 縦 4m 程度 2～3m 鑑賞スペース 司会者用椅子</p></div> <div></div>					<ul style="list-style-type: none"><li>・体育館のフロアを使用して演奏致します。舞台上は、絨帳を閉めて頂けるのであれば楽器ケースを置くスペースとして使用させていただきます。</li><li>・演目によっては演奏しない奏者が居ますので、演奏スペースの両サイドには奏者控え用の椅子をご用意頂きます。</li><li>・楽団が演奏に使用するスペースは縦4m程度×横8m程度です。児童・生徒の皆様の鑑賞スペースと楽団の間は2～3m程度空けて頂きます。</li><li>・ピアノは使用致しません。演奏に支障のある位置に置かれている場合はご移動をお願いする場合がございます。</li><li>・演奏スペースに直射日光が入る場合は暗幕を閉めて頂く場合がございます。</li></ul>	
※会場条件につ							
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名			
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



別添

あり

【公演団体名

テレマン室内オーケストラ

】

ワークショップの  
ねらい

ワークショップのねらいは、事前学習と体験を通して本公演への期待感を高め、本公演を単発のイベントではなく、深い学びへとつなげることです。

## ①事前学習による、バロック音楽を「聴く」ための準備

バロック音楽が貴族の邸宅で演奏されていたことや、バロック音楽に特有の通奏低音について学ぶことで、児童・生徒の皆様には本公演でしっかりと意味を理解しながら聴いて頂くことが出来るようになります。事前に得た情報が鑑賞の解像度を格段に上げ、音楽の構造を意識しながら聴く土台を築きます。

## ②体験学習による満足感の増幅

バロックダンスのステップを実際に体験することで、音楽を頭で理解するだけでなく、身体で感じて深く学ぶことができます。王侯貴族が舞踏会で踊ったダンスを再現するという体験は、児童・生徒の皆様には知的な喜びをもたらす、本公演での共演時の満足度が飛躍的に高まります。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

1～500名程度

ワー  
ク  
ショ  
ップ  
の  
内  
容ワークショップ  
実施形態及び内容

ワークショップ内容は「知る」、「体験する」、「創造する」の3つの要素で構成されており、本公演当日の午  
前中の1校時分を想定しています。

## 【知る】バロック音楽の特徴とバロックダンスについて解説

バロック音楽が演奏されていた歴史的背景やバロック時代における調性音楽の確立やチェロなどの低音楽器とチェンバロがセットになった通奏低音などについて解説します。また、バロックダンスについては17世紀初頭から18世紀中ごろまでフランスの宮廷を中心に盛んに踊られ、バレエや社交ダンスのもとになったダンスであるということなどを解説します。

## 【体験する】バロックダンスのステップについて

本公演で体験して頂くメヌエット・ステップを学習して頂き、実際に踊って頂きます。メヌエット・ステップは3拍子2小節の6拍がワンセットとなっており、6つの動作で成り立っています(特記事項参照)。この動作を覚えて頂いた後は、「1, 2, 3, 4, 5, 6」の掛け声に合わせて6つの動作を練習し、実際に踊ってみます。本公演では男女交互に並んで円になり踊ります。

## 【創造する】オリジナルの振り付けの創作

バロックダンスのメヌエットはステップだけのダンスのため、上体の動きについては児童・生徒の皆様を少人数のグループに分け、グループ内で協力してオリジナルの振り付けを作って頂きます。18世紀の王侯貴族が踊っていたことを想像しながらオリジナルの振り付けを創って頂くことで児童・生徒の皆様の自己表現の向上につなげたいと考えています。

※別日程にワークショップをご希望の場合、またはリコーダー共演をご希望の場合については別添をご覧ください。

その他ワークショップに  
関する特記事項等

## ●メヌエット・ステップについて

3拍子2小節がワンセットとなり、下記の6つの動作から成り立っています。※参考動画参照  
【開始のポーズ】左足に重心をかけて立つ/膝を曲げる/右のかかとを少し上げて左くるぶしに付ける  
【1】右足を前へ踏み出して着地/膝を伸ばす  
【2】膝を曲げる/左足はつま先立ちに/左のかかとを右のくるぶしに付ける  
【3】左足を前に踏み出して着地/膝を伸ばす  
【4】膝は伸ばしたまま/右足を前へ踏み出して着地  
【5】膝は伸ばしたまま/左足を前に踏み出して着地  
【6】膝を曲げる/右足はつま先立ちに/右のかかとを左のくるぶしに付ける

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名                      テレマン室内オーケストラ                      】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。  
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。  
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。  
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。  
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。  
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。  
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。  
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		指定なし	A以上
舞台設置面積		間口	8 m	奥行	4 m		
		高さ	指定なし	m			
舞台設置場所		フロア対応	可	学校のステージでの対応		条件が合えば可	
搬入間口の広さ		幅	2 m	高さ	2 m		
遮光の要否		不要		緞帳の要否		有無のみ確認したい	
ピアノの使用について		使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			
				ピアノを使用しない場合の移動の要否		不要	
搬入車両(トラック等)の横づけ		応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		50 m以内	
搬入車両の種類		ハイエース		台数	1 台		
搬入車両の大きさ		車幅	2 m	車長	5 m		
備考		遮光について、演奏スペースに直射日光が入る場合は暗幕を閉めて頂く場合がございます。					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	搬入経路がわかる資料(可能な範囲で結構です。難しい場合はお電話等で確認させていただきます。)	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	5分～10分	ワークショップ実施時間外において各自(休み時間や自宅での個人練習等を想定)	バロックダンスのステップの練習	WS終了後、本公演実施までに可能な範囲で適宜個人的にステップの練習をお願い致します。
ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	5分～10分	ワークショップ実施時間外において各自(休み時間や自宅での個人練習等を想定)	リコーダーの練習	リコーダー共演をご希望の場合のみ/可能な範囲で結構ですので、個人練習をお願い致します。	
本公演						
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

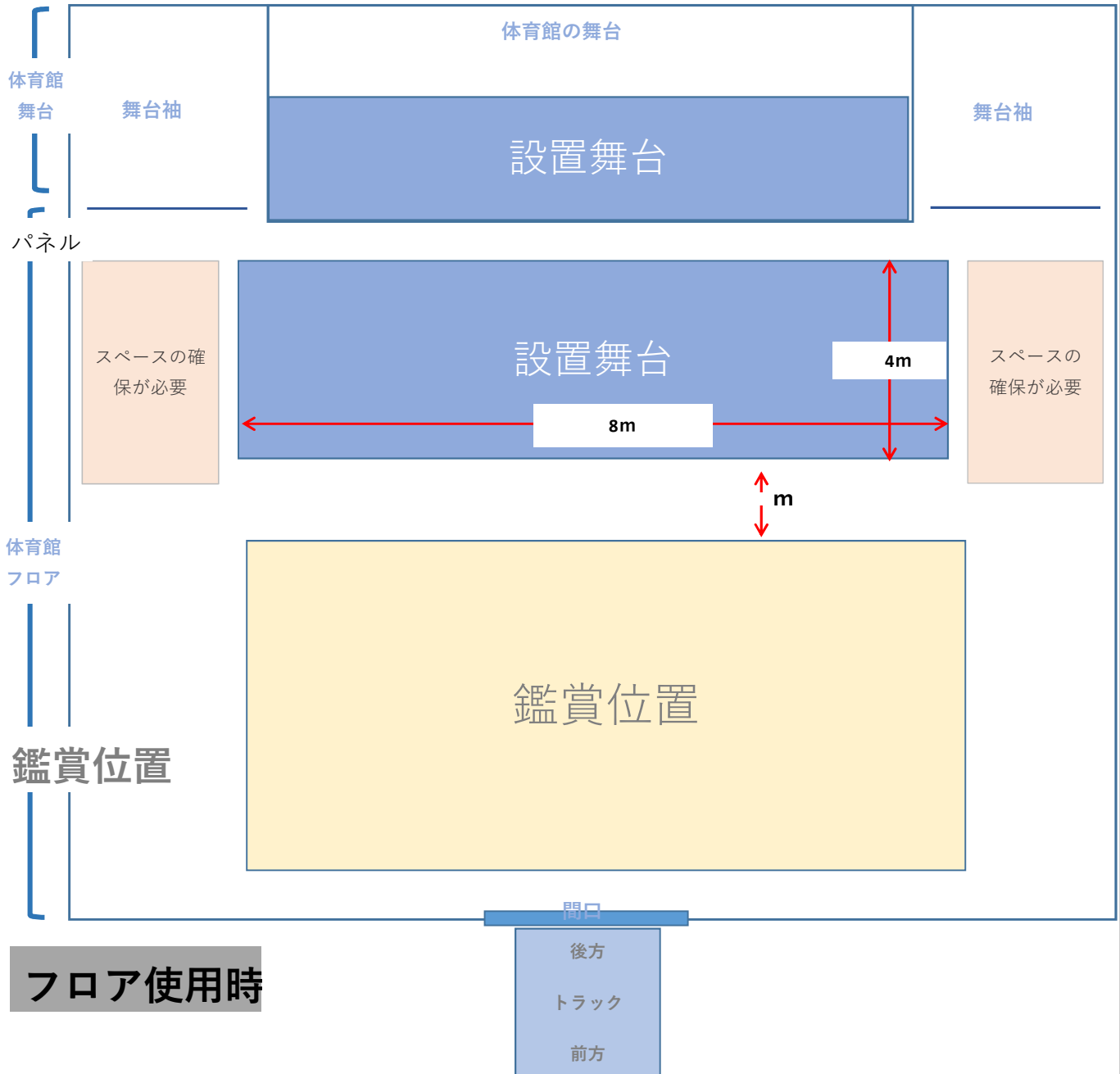


(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名

テレマン室内オーケストラ

】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

当協会は全国的に見ても数少ないバロック音楽を専門とする楽団です。当該分野の公演を通して児童・生徒の皆様の音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことに寄与することが使命であると考えています。

バロック音楽は構造がシンプルなため、音楽を形作っているリズムや強弱、音の重なり等が生み出す美しさを感じて頂きやすく、反復と問いと答えといった楽曲の構造を理解するのに適した音楽です。さらに音楽教育の場で親しまれているリコーダーはバロック時代には花形楽器でしたので、リコーダーのために書かれた協奏曲や室内楽曲が多数存在します。プロフェッショナルなリコーダー独奏者の演奏を鑑賞することで、リコーダーが単なる学習のための楽器ではなく芸術作品を演奏可能な素晴らしい楽器であり、児童・生徒の皆様も同じものを所有し、練習を重ねれば高度な技術を習得することが出来るかもしれないという気付きを得るきっかけとなります。

国内に数少ないバロック音楽の専門団体として、このような学びの機会を提供し、未来を担う子どもたちの豊かな情操を養うことに貢献したいと考えています。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

## ・司会者による導入

司会者が児童・生徒の皆様に親しみやすい言葉で挨拶し、公演が始まる前に拍手の練習や鑑賞のポイント(例:「いいなと思ったら拍手をしましょう」など)をお伝えします。これにより児童・生徒の皆様にとどのように鑑賞したら良いかを知って頂き、安心して公演にご参加頂くことが出来ます。

## ・臨場感を高める演出

児童・生徒の皆様と楽団との距離を可能な限り近づけて配置します。舞台やひな壇は使用せず、演奏家が客席と同じ目線になるようにすることで、臨場感が高まり、音の響きや演奏家の表情、楽器の動きまで感じて頂くことができます。

## ・体験コーナーの盛り上げ

バロックダンスの体験の際には、全員が楽しみながら体を動かせるような雰囲気づくりをします。掛け声をかけたり、指導者が一緒に楽しそうに踊ることで、児童・生徒の皆様の参加意欲を高めます。

## ・希少な楽器チェンバロ

本公演の前半ではヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスといった弦楽器に加え、バロック音楽に特有のチェンバロのご紹介も致します。休憩中や終演後にはチェンバロを間近でご覧頂くことが可能です。チェンバロは希少な楽器であり、音の出る機構を知り、その音色を味わって頂いた後、ピアノとは違う外観を見て頂くことでバロック音楽への興味関心を高めます。

## ・共演コーナーの達成感

公演のクライマックスとなる共演コーナーでは、児童・生徒の皆様が普段の練習の成果を存分に発揮できるよう、楽団がサポート致します。ご希望があれば校歌の指揮を児童・生徒のどなたかお任せすることも出来ますので、大きな達成感と自信につなげることが出来ます。

## ・ワークショップとのリンク

ワークショップでご紹介した楽器や楽曲、演奏家が本公演で再び登場した際に、司会者が「ワークショップで登場した楽器ですよ！覚えていますか？」などと声かけをすることで、ワークショップとのつながりを意識して頂きます。

## ・演奏家のストーリーを知る

公演内のインタビュー・コーナーでは、演奏家の子供の時の話や演奏家を目指したきっかけ、努力などについて知って頂き、特別な思い出として記憶に残るように致します。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【学校との連絡調整について】

### ・マニュアル

ご担当の先生との打ち合わせを円滑に進めるために、公演に向けての打合せ内容を簡潔にまとめたマニュアルを作成しています。紙ベースのもの、PDFデータ、WEBページなど、同内容のものを複数のプラットフォームで作成し、一番ご覧頂き易いものをそれぞれ選択して頂けるようにしています。

### ・連絡頻度

開催校様とのご連絡は公演日及びワークショップ実施日計算で時期を4段階設定しています(①最初のご連絡、②ワークショップ2週間前、③本公演1か月前、④本公演1週間前)。これまでの経験で、それぞれの段階でお打合せすべき内容を精査し、簡潔かつもれのないように心がけています。

### ・ご回答及びご提出物について

打合せに際して学校側からご回答・ご提出頂く内容としては、WS日程や本公演開演時間、借用備品等の有無、校歌の楽譜、共演内容等がありますが、ご連絡の方法としてはWEB上での入力フォーム、Wordデータ、FAXなど複数ご用意し、開催校様ごとに一番ご都合の良いものをお選び頂けるようにしています。また、それぞれのご回答・ご提出物につきましては明確に期限をお伝えしてご連絡することで、スムーズにワークショップ及び本公演を実施出来るようにしています。

### ・ワークショップ時の現地確認

ワークショップを事前に行う場合は体育館や開催校様近隣の交通事情などの現地確認をさせて頂き、本公演での移動をスムーズに出来るようにしています。

### ・訪問打合せ

上記お打合せだけではご不安な点がおありの開催校様には、必要に応じて事務局スタッフが出向き、お打合せをさせて頂くことでご担当の先生のご負担を軽減致します。

### ・公演当日

公演当日は事務局スタッフが楽団に随行し、事前のお打合せ内容をご担当の先生と確認し、公演に臨みます。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

### ・短い曲の組み合わせ

1曲あたりの演奏時間を3～5分以内を目安に構成し、間に解説や楽器紹介、体験コーナーを挟むことで、集中力が途切れないテンポの良い展開を意識しています。また、児童・生徒の皆様が多少ざわついたり、身体を揺らしたりするのは自然な反応と考えています。それを無理に制止するのではなく、それ自体を音楽への興味の表れと捉え、次の展開で惹きつけるという、柔軟な姿勢で臨みます。

### ・司会における言葉選び

専門用語を避け、児童・生徒の皆様の日常感覚に訴えかける言葉で、自然と音楽の世界に入って頂きます。例えば、「バロック音楽のメロディーは短い音のまとまりでできています。例えばおもちゃのブロックみたいに小さい音のブロックを積み上げて大きなメロディーを作っていきます」というように、身近なものに例えて解説します。また、「教えてあげる」「静かに聴きなさい」という姿勢ではなく、「一緒に楽しみましょう!」「こんな面白い世界があるんですよ」という共感のスタンスで公演に臨みます。

### ・作曲家の人間性の紹介

「音楽の父バッハは、実は20人も子どものいた大家族のお父さんだった」「ヘンデルは今のヒットメーカーみたいに、次々とオペラを大ヒットさせたプロデューサーでもあった」など、作曲家を「偉人」ではなく「一人の人間」として紹介し、親近感を抱いて頂きます。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

### ・リコーダー用オリジナル楽譜の提供

本公演で取り上げた演目の一部をリコーダー2本で簡単に演奏できるように編曲したオリジナルの楽譜を提供致します。本公演で得た感動や学びからつながる、児童・生徒の皆様の「やってみたい」という気持ちをサポート致します。音楽会やクラスでの発表会など、日常の活動に活かして頂くことも可能です。

また、楽譜を読んで演奏することは、分数、比率などの概念を実感を持って学習する良い教材となりますので、楽しみながら算数や数学の学習につなげて頂くことが出来ます。

### ・CDの提供

また、これまでに当協会がリリースしたCDを提供し、図書館等に設置して頂くことでいつでも鑑賞頂ける環境を作ります。(今後CDはYouTubeで無料配信する予定となっており、インターネット環境があればいつでも聴きたい時に気軽に聴いて頂くことが出来るようになる予定となっています。)

### ・他分野への発展

さらに、バロック音楽の鑑賞はオーケストラに対する興味関心に、バロックダンス体験はバレエへの興味関心につながると考えています。

別添

なし

【公演団体名

テレマン室内オーケストラ

】

## ①離島・へき地等における公演実績

【令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)】

横手市立平鹿中学校・北海道紋別養護学校ひまわり学園分校

【令和5年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)】

壱岐市立初山小学校・壱岐市立鯨伏小学校・与那国町立与那国中学校・与那国町立久部良中学校

【令和3年度文化庁補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」】

与論町立世論小学校

【平成30年度文化芸術による子供の育成事業一巡回公演事業】

奥尻町立青苗小学校

## ②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】

・小回りの利く運搬

小編成の楽団で実施するため、楽団は中型バス1台、大型楽器の運搬はハイエース1台で移動が完結します。大型車両の乗り入れが難しい離島などへも、質の高い音楽をお届けすることが可能です。

・迅速な搬入と省スペースでの設営

楽器の搬入及び搬出はそれぞれ30分程度で完了します。先生方にお手を煩わせることなく、普段の学校活動への影響を最小限に抑えたスムーズな公演運営が可能です。

・限られた宿泊施設への対応

小編成の楽団で実施致しますので、小さな民宿や旅館などでも利用させて頂くことが可能となっており、開催校の選択肢が広がります。

・天候不要など不測の事態への対応

少人数編成のため、万が一の天候不良などによる交通機関の乱れにも柔軟に対応することが可能です。

【質を保つための工夫】

テレマン室内オーケストラは室内楽の団体であり、本企画で取り上げる演目は平時の活動でもほぼ同じ編成で演奏していますので、質の高いアンサンブルの演奏を提供することが可能となっています。また、最小限の出演者であったとしても曲想や編成にバリエーションを持たせつつ体験プログラムも配置することで変化に富んだ企画を立案しています。

移動困難地域であったとしてもチェンバロを運んで実施出来るよう、本事業のために必要最小限の鍵盤を備えた最も小さい部類のチェンバロをご用意しています。ただし、航空機移動の際はAB席が3席必要となるため、移動手段が2列シートの航空機の場合はリユートで代用いたします。

## ③特別エリア区分応募における、費用面の工夫

楽団の編成を最小限にして、出演者を楽団首席奏者をはじめとする経験豊富な者に限定することで、人件費と派遣費、運搬費を削減しつつ質の高い公演が実施可能となっています。使用する楽器のうち、ヴァイオリン、ヴィオラ、リコーダーは奏者が手持ちで運搬することが可能です。運搬車を必要とする楽器はコントラバスとチェンバロのみとなっており、譜面台、楽譜、チェロ椅子、コントラバス椅子等の備品を含めても小型のハイエースのみで運搬可能となっています。

さらに演奏者がライブラリアンやステージマネージャーを兼ねることで費用の削減につなげています。

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名	テレマン室内オーケストラ	】
制作団体沿革・主な受賞歴	<p>日本テレマン協会は1963年に創設したバッハからベートーヴェンまでを専門とする日本でも珍しい楽団です。バロック音楽から古典派にわたる室内楽分野の演奏活動とアカデミックな研究を通じて、音楽芸術の普及を図り、地域の文化振興に寄与することを目的としています。「社会の一員」であるオーケストラとして、以下のことを使命に活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バロックと古典派の音楽の普及啓蒙</li> <li>・同分野の研究と文化的な牽引を担うこと</li> <li>・演奏活動を通じての関西の文化振興への寄与</li> <li>・音楽鑑賞事業や親子コンサートなどの実施による情操教育への貢献と次代の聴衆の育成</li> <li>・特色のある小規模公演を実施することによる地域社会への貢献</li> </ul> <p>2023年には創立60周年を記念して「音楽性の深化」、「次世代・次々世代の育成」などをテーマに周年記念事業を実施しました。</p> <p>2023年10月15日に実施した第300回定期演奏会では1829年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現しました。バッハが現在のように有名となったきっかけである歴史的イベントの再現ということで、下記のような理由で令和5年度大阪文化祭賞を受賞しました。</p> <p>創立60周年を迎えた日本テレマン協会が、その記念事業の一環として第300回定期演奏会で取り上げたのはJ. S. バッハ《マタイ受難曲》で、1829年にメンデルスゾーンによって復活上演が行われた際の演奏形態を再現しようというもの。</p> <p>創設者である延原武春の指揮により引き出された表現は、いつもの古楽アプローチとは異なり、ロマン派の仮面をかぶった演技をしているようで非常に興味深かった。メンデルスゾーンの意図を汲むという意味で、指揮者としての延原の能力を再確認でき、オーケストラも優れた演奏。福音史家を務めた新井俊稀とイエスの篠部信宏の充実した歌唱をはじめ、日本テレマン協会所属のソリストたちは、合唱団も含めて、延原の指揮に寄り添った演奏を繰り広げた。約200年前の演奏の状況を再現するというユニークな試みが、音楽的な密度を伴って表現された。</p> <p>以上の理由により、この公演を高く評価して大阪文化祭賞を贈呈する。 (令和5年度大阪文化祭賞プレスリリースより)</p>			
	<p>また、一般的には「次世代育成のための演奏会」とは子供が対象になりますが、音楽監督延原の考えで親子で楽しめる公演を、各自治体のホールとの協働で2023年から継続的に実施しています。下の写真は公演時の指揮者体験コーナーのものです。</p> 			



別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.3-①	【公演団体名	テレマン室内オーケストラ】
ワークショップ実施形態 及び内容	下記のようなご希望にも柔軟に対応致します。		
	<p><b>①本公演当日の公演後にワークショップをご希望の場合</b>          ワークショップは公演当日の午前中に実施することを想定していますが、もし公演後のワークショップをご希望の場合(例 低学年の下校時間の関係で午前中に本公演を実施し、高学年のみ午後からWSの実施をご希望の場合など)は、楽団員への質問コーナーや感じたことや想像したことを感想文や絵画、詩など、形式を問わず発表出来る場にするなど、柔軟に対応いたします。この場合、期待できる教育効果は「ワークショップのねらい」に記載した内容とは別の形となり、本公演で得た感動の定着を目指したものになります。</p> <p><b>②別日程でWSをご希望の場合</b>          別日程でのワークショップをご希望の場合は2校時分のお時間を頂き、当日実施分の内容に加えてヴァイオリンの楽器紹介とヴィヴァルディ「四季」の実演付き解説が加わります。</p> <p>●1校時目  <b>【知る】バロック音楽の特徴について解説</b>          バロック時代における調性音楽の確立やチェロなどの低音楽器とチェンバロがセットになった通奏低音などについて解説します。  <b>【知る】ヴァイオリンの楽器紹介とヴィヴァルディ「四季」の実演付き解説</b>          本公演では弦楽器を主体とした楽団の演奏をご鑑賞頂きます。弦楽器にはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの4種類がありますが、どの楽器も楽器本体と弓がセットになっていることや弓には馬の尻尾の毛が使われていることなどは共通しています。ワークショップにはヴァイオリンの奏者が赴き、楽器の構造や音の出る仕組みなどについて解説します。          楽器の構造について学んでいただいた後は、本公演で取り上げるヴィヴァルディ「四季」について、楽譜に書き込まれたソネットによる情景描写がどのように音楽で表現されているかを、実演付きで解説致します。</p> <p>●2校時目  <b>【知る】バロックダンスについて解説</b>          バロックダンスが17世紀初頭から18世紀中ごろまでフランスの宮廷を中心に盛んに踊られ、バレエや社交ダンスのもとになったダンスであるということなどを解説します。</p> <p><b>【体験する】バロックダンスのステップについて</b>          本公演で体験して頂くメヌエット・ステップを学習して頂き、実際に踊って頂きます。メヌエット・ステップは3拍子2小節の6拍がワンセットとなっており、6つの動作で成り立っています(特記事項参照)。この動作を覚えて頂いた後は、「1, 2, 3, 4, 5, 6」の掛け声に合わせて6つの動作を練習し、実際に踊って頂きます。本公演では男女交互に並んで円になり踊ります。</p> <p><b>【創造する】オリジナルの振り付けの創作</b>          バロックダンスのメヌエットはステップだけのダンスのため、上体の動きについては児童・生徒を少人数のグループに分け、グループ内で協力してオリジナルの振り付けを作って頂きます。18世紀の王侯貴族が踊っていたことを想像しながらオリジナルの振り付けを創って頂くことで児童・生徒の皆様の自己表現の向上につなげたいと考えています。</p> <p><b>③リコーダー共演をご希望の場合</b>          本公演でリコーダーでの共演を選択された開催校様は、ヴァイオリンの実演付き楽器紹介をリコーダーの実技指導の内容に変更することも可能です。指導内容としては、楽器の構え方、息の入れ方のコツに加え、フレージングや表現、合奏での合わせ方などについて、可能な限り深く指導させて頂きます。          ただし、バロックダンスの実技指導と合わせると2校時分は必要となりますので、<u>リコーダーのワークショップをご希望の場合は別日程でのワークショップをお勧めいたします。</u></p>		